

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年3月3日			
	総事業費	210,000千円			
	交付金額	70,000千円			
	整備対象地域	奥尻町全域(稲穂 宮津 球浦 奥尻 赤石 松江 富里 青苗 米岡 湯浜)			
事業の内容	<p>奥尻町は、町内全域のブロードバンドゼロ解消に取り組み、住民(ブロードバンド誘致の会)と民間電気通信業者とが協力し、平成15年12月に奥尻地区で、平成18年12月には青苗地区においてxDSLサービスを開始した。しかし、xDSLは、交換局から約4Km程度しかカバーできなく、光ブロードバンドサービスは民間電気通信業者の採算面での理由から拡大されず、ブロードバンド未整備の世帯数が72世帯となっていた。(未整備地区名:字稲穂地区、字湯浜地区)</p> <p>このブロードバンド地域の2地区を含む町内全域に対し、FTTHを整備し民間電気通信業者にIRUで開放する事により、超高速ブロードバンドサービスを提供したことによりブロードバンドゼロが解消され、町内全域において超高速ブロードバンドサービスの提供が可能となった。</p>				
BB	サービス開始日	平成23年4月1日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社 北海道支店			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	1,657	1,657	1,589	1,563
	加入世帯数	498	663	391	566
加入率(%)	30.0%	40.0%	24.6%	36.2%	
評価及び課題	<p>町民に対するBBの必要性・利便性の周知が不十分だったため、整備終了5年後の目標加入率、40%には届いていないが、おおむね達成可能な数値である。今後は、ADSL回線利用者からの新規加入へとつなげるよう、光回線の利便性について広報誌や各種イベントにおいてPRし、早期に加入目標を達成したい。</p>				